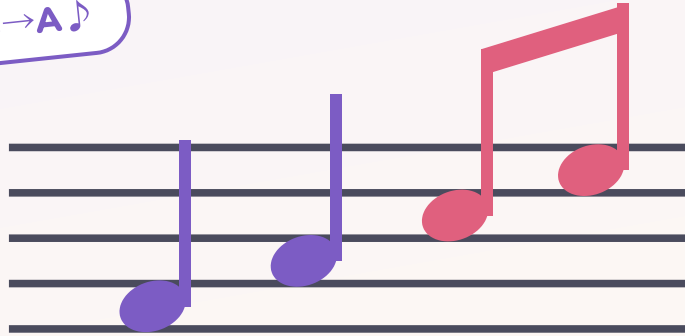


A→B→A♪



曲の地図をつくらう！

曲の形式

曲の組み立て方＝設計図を知ろう



この教材の使い方

1

声と体で感じる

音楽は、歌ったり手をたたいたりするほど身につきます。気になったところは、何度でも声に出してみましよう。

2

本物の音を聴く

この教材に出てくる曲や楽器は、音源や動画でも聴いてみましょう。耳で知ると、理解がぐっと深まります。

3

「やってみよう」は手と体で

答えは30ページにあります。正解がひとつではない問題もあります。自分の感じ方を大切にしましょう。



Ken (ケン)

音楽が好きな中学生。ギターを始めたばかり。



Emma (エマ)

カナダから来た留学生。ピアノが得意。

もくじ

形式の基本	3～9
いろいろな形式	10～15
形式を使う	16～19
練習しよう	20～24
ふり返り	25～30

曲の形式ってなに？

形式とは、曲の組み立て方＝設計図のことです。

曲の形式とは、メロディやまとまりを、どんな順番で並べるかという設計図のことです。

同じ材料（メロディ）でも、組み立て方によって曲の印象は大きく変わります。



ポイント

- 形式は、家の間取り図のように、曲全体の「見取り図」の役割をします。
- 形式を知ると、曲を聴くときも、つくるときも、見通しが立てやすくなります。

やってみよう

1. 好きな曲を思い浮かべ、「同じメロディがくり返される場所」を探してみよう。

ワンポイント 形式は、正解が1つではありません。曲によって、自由に工夫されています。

書いて覚えよう

一部形式

1つのまとまりだけでできる、いちばんシンプルな形式です。

一部形式

one-part form

1つのメロディのまとまり (A) だけでできる形式

A

I-

曲の中の1つのまとまりを表す記号

ポイント

- 童謡やわらべうたなど、短い曲に多く見られます。
- 1つのまとまりを、そのままくり返して歌うこともあります。

やってみよう

1. 知っているわらべうたを1つ思い出して、ロズさんでみよう。

書いて覚えよう

まとまりの組み合わせ方で、形式の名前が変わります。

A - B

対照的な流れが生まれる

A×〇とB×〇に近い形

A - B - A

まとまりのよい安心感

落ち着いたバランス

- 三部形式は、最初のAにもどってくるので、聴き終わったときにまとまりを感じやすくなります。

1. A-B-Aの形で、身近な1日の流れをたどってみよう（例：朝-昼-朝の続き）。

同じ主題が、何度も顔を出す形式です。

A

B

A

C

A

主となる部分 (A) が、ちがう部分 (B・C) をはさみながら、くり返しあらわれます。

- Aが何度も戻ってくことで、曲全体に統一感が生まれます。
- BやCの部分では、Aとは違う雰囲気音楽が楽しめます。

1. A-B-A-C-Aの形で、手拍子のリズムを考えてみよう。

3つの部分で1つの物語をつくる、大きな形式です。

1つの主題を、姿を変えながらくり返す形式です。

theme and variations

theme

変奏のもとになる、最初のメロディ

- リズムを変える、速さを変える、音を飾るなど、さまざまな変え方があります。
- 元のメロディが分かるくらいの変化にとどめるのが、変奏曲らしさです。

1. 「きらきら星」のような知っているメロディを、少し速さを変えて歌ってみよう。

9

イントロとアウトロ

曲の始まりと終わりにも、役割があります。

イントロ

intro

曲の始まりに演奏される、歌の入る前の部分

アウトロ

outro

曲の終わりに演奏される、余韻を残す部分

ポイント

- イントロは、これから始まる曲の雰囲気を伝える役割を持っています。
- アウトロは、曲の余韻を残しながら、静かに終わらせる役割があります。

やってみよう

1. 好きな曲のイントロだけを聴いて、曲の雰囲気を言葉にしてみよう。

書いて覚えよう

interlude

歌と歌の間に演奏される、楽器だけの部分

- 間奏は、聴き手が一息つき、次の展開に気持ちを向ける時間になります。
- 楽器の音色や演奏を、じっくり楽しめる場所でもあります。

1. 好きな曲の間奏で、どんな楽器が聴こえるか探してみよう。

くり返しの役割

くり返しには、曲をまとめる力があります。

ポイント

- 同じメロディがもどってくると、聴き手は「知っている」と感じ、安心します。
- くり返しのたびに、少しでも音を足すと、盛り上がりをつくれます。

やってみよう

1. 好きな曲の中で、いちばん多くくり返される部分はどこですか。

ワンポイント くり返しが多すぎると単調になることもあります。バランスが大切です。

書いて覚えよう

曲の地図を描く

形式を図にすると、曲の全体像が見えてきます。

曲名

イントロ

Aメロ

Bメロ

サビ

アウトロ

Ken の例

曲名 ○○のテーマ／イントロ 静かなピアノ／Aメロ ゆったり語るように／Bメロ 少しずつ盛り上がる／サビ 力強く、みんなで歌う／アウトロ ゆっくりフェードアウト

ポイント

- 図にすると、自分がどこを聴いているか、迷わず追いかけてられます。

書いて覚えよう

- 童謡や唱歌は、一部形式や二部形式のシンプルな曲が多くあります。
- 交響曲やソナタは、いくつもの楽章と大きな形式でできています。

1. 知っている童謡や唱歌を1曲えらび、形式を考えてみよう。

耳で聴いて、形式の変わり目を見つけましょう。

形式を決めてつくる

形式を先に決めると、曲がつくりやすくなります。

使う形式

Aの雰囲気

Bの雰囲気

くり返す回数

Emma の例

使う形式 三部形式 (A-B-A) / Aの雰囲気 明るく軽やか / Bの雰囲気 少し切なく / くり返す回数
Aを2回

ポイント

- 初めてつくるときは、一部形式や二部形式のようなシンプルな形式がおすすめです。

書いて覚えよう

二部形式

三部形式

形式は、曲の盛り上がりをつくる設計でもあります。

場所	盛り上がり
イントロ	低い・これから期待
A×O・B×O	中くらい・積み上げる
サビ	高い・いちばんの見せ場

ポイント

- 形式を意識すると、どこで盛り上げ、どこで落ち着かせるかを設計できます。

やってみよう

1. 自分の曲の地図に、盛り上がりの高さを線で書き足してみよう。

書いて覚えよう

形式クイズ・形式を使った作品

覚えた形式を使って、確認と作品づくりをしましょう。

形式クイズ

1. A-B-Aの形式を何という？ _____
2. 主題が何度も顔を出す形式を何という？ _____

ポイント

- 覚えた形式の中から1つを使って、短い作品をつくってみましょう。
- むずかしければ、一部形式や二部形式から挑戦してみましょう。

やってみよう

1. 好きな形式を1つえらび、短いメロディの地図を描いてみよう。

書いて覚えよう

やってみよう・みんなで練習

体を使って、形式の変化を表してみましょう。

- A** (Aの部分) 手拍子でリズムをたたく
- B** (Bの部分) 足ぶみでリズムをたたく
- A** (Aにもどる) _____
- B** (新しいCの部分) _____
- A** (またAにもどる) _____

ポイント

- 体の動きを変えることで、形式の変わり目を体で感じられます。

ワンポイント 2人で息を合わせるのが難しいときは、まず1人でA・Bの動きを練習しましょう。

書いて覚えよう

よくあるつまずき・上達のコツ

つまずきは、上達のサインです。

つまずき

よくあること

形式の名前を覚えられない

似た名前が多くて混乱する

曲を聴いても形式がわからない

全部同じに聴こえる

形式を決めても長続きしない

途中で飽きてしまう

コツ

こうしてみよう

図にして視覚化する

並び順で覚える

変わり目だけに注目する

全部を追わない

短い形式から始める

一部形式でOK

ポイント

- できないところは、ゆっくり・短く区切って練習しましょう。

やってみよう

1. あなたが形式でつまずきやすいことは？ _____

書いて覚えよう

用語をおさらい

この教材で出てきた言葉を確認しよう。

基本の形式

☐ 一部形式

1つのまとまりだけの形式

☐ 二部形式

A-Bでできる形式

☐ 三部形式

A-B-Aでできる形式

大きな形式

☐ ロンド形式

Aがくり返しあらわれる形式

☐ ソナタ形式

提示・展開・再現の3部分

☐ 変奏曲

主題を変化させてくり返す形式

曲の部分

☐ イントロ

曲の始まりの部分

☐ アウトロ

曲の終わりの部分

☐ 間奏

歌と歌の間の楽器の部分

ポップスの形

☐ A×O

場面を語りはじめる部分

☐ B×O

気持ちが高まる部分

☐ サビ

曲でいちばん盛り上がる部分

ワンポイント 覚えた言葉に✓をつけよう。言葉を知ると、曲の形も説明しやすくなります。

書いて覚えよう

復習クイズ

ここまでの内容をチェックしよう。

1. 言葉と意味を線でむすぼう

- | | | |
|------|---|---------------------|
| イントロ | ● | ● ア. 歌と歌の間の楽器の部分 |
| アウトロ | ● | ● イ. 曲の始まりの部分 |
| 間奏 | ● | ● ウ. 曲の終わりの部分 |
| サビ | ● | ● エ. 主題を変化させてくり返す形式 |
| 変奏曲 | ● | ● オ. 曲でいちばん盛り上がる部分 |

2. 空らんに入る言葉を書こう

1. A-B-Aの形式を [] という。 _____
2. Aが何度も顔を出す形式を [] という。 _____

3. 正しいほうに○をつけよう

1. 曲でいちばん盛り上がる部分 → (サビ / イントロ)
2. 主題を変化させながらくり返す形式 → (変奏曲 / ソナタ形式)

書いて覚えよう

好きな曲のAメロ・Bメロ・サビを探す

曲のくり返しの回数を数える

知っている歌の形式を考える

曲の地図を1つ描いてみる

気づいたことをノートに書く

家族と好きな曲の形式を話す

- 1回5分でも、毎日続けることがいちばんの力になります。

発表してみよう・感想を書こう

つくった曲の地図を、人に伝えてみよう。

曲名

使った形式

工夫したところ

聴いてほしい人

Ken の例

曲名 坂道のテーマ／使った形式 三部形式／工夫したところ 真ん中だけ速さを変えた／聴いてほしい人 音楽の先生

感想を3文で書こう

① この曲の形式は、～でした。② とくに、～のところを工夫しました。③ それは、～だからです。

書いて覚えよう

もっと知りたい人へ・次のステップ

形式の世界は、ここからどんどん広がります。

もっと知りたい人へ

動画で

オーケストラの演奏を通して聴く

図書館で

作曲家や名曲の本を読む

アプリで

形式ごとに曲を聴き分ける

次のステップ

アレンジ

形式を保ったまま印象を変える

作曲

形式を使って1曲仕上げる

演奏

形式を意識して演奏する

ポイント

- この教材の次は「アレンジ入門」。覚えた形式を生かして、曲を変化させる学びが待っています。

書いて覚えよう

1. 形式とは、どんなものですか。 _____
2. いちばん気に入った形式は？ _____
3. これから挑戦してみたいことは？ _____

できたミッションに✓をつけよう： ☐1 ☐2 ☐3 ☐4

29

曲の形式チャレンジ

教室の外でも、形式さがしはすぐに楽しめます。

聴こう

好きな曲のくり返しを探す

描こう

曲の地図（形式）を1つ描く

伝えよう

描いた地図を家族に説明する

こたえ

L26 イン트로→イ アウトロ→ウ 間奏→ア サビ→オ 変奏曲→エ
2. 三部形式 / ロンド形式 3. サビ / 変奏曲

L33 （例）形式は、メロディをどんな順番で並べるかという設計図。

書いて覚えよう

曲の形式（Season 8 | No.75）

発行：一般社団法人文化芸術支援協会

この教材の著作権は一般社団法人文化芸術支援協会に帰属します。個人の学習および家庭内での利用に限り、閲覧・保存・印刷ができます。

有料の講座・塾・研修での使用、販売・再配布、改変しての公開、生成AIへの入力などの商用利用は禁止しています。

くわしくは当協会ウェブサイトの「ウェブサイト利用規約」をご覧ください。